平成 1 9 年 1 2 月 2 1 日

平成 1 9 年第 4 回岬町議会定例会

第 3 日会議録

平成19年第4回(12月)岬町議会定例会第3日会議録

平成19年12月21日(金)午前11時10分開議

場 所 岬町役場議場

出席議員 次のとおり14名であります。

1番 川 端 啓 子	2番 鍛 治 末 雄	3番 中 原 晶
5番 和 田 勝 弘	6番 出 口 實	7番 奥 野 学
8番 谷 本 貢	9番 反 保 多喜男	10番 岡 本 重 樹
11番 辻 下 文 信	12番 辻 下 正 純	13番 田 代 堯
14番 小 川 日出夫	15番 竹 内 邦 博	

欠席議員 な し

傍 聴 1 名

地方自治法第121条の規定により本会に出席を求めた者は次のとおりであります。

町 長 石 田 正 弘	副 町 長 平 徹 也
教 育 長 田 中 繁 樹	総 務 部 長 中 口 守 可
総 務 部 理 事 嶋 本 良 二	総 務 部 理 事 古 田 正
総 務 部 副 理 事 兼 総 務 法 制 課 長 南 康 明	企 画 部 長 竹 本 靖 典
住 民 部 長 白 井 保 二	住 民 部 副 理 事 兼 税 務 課 長 入 口 博 行
福 祉 部 長 芦 田 貴 志 雄	事 業 部 長 松 永 英 三
事 業 部 理 事 藏 ヶ 崎 龍 男	上 下 水 道 部 長 末 原 光 喜
会 計 管 理 者 副 理 事 兼 会 計 課 長 淵 原 義 仁	教 育 部 長 岡 田 耕 治
教 育 部 副 理 事 兼 生 涯 学 習 課 長 岡 本 茂	教 育 部 副 理 事 兼 青 七 文 七 所 長 一 本 稔 明

教育部副理事
兼淡輪公民館長
総務部
行財政改革課長

谷口桂三
四至本直秀

総務部危機管理課長 亀崎義夫
企画部企画人事課長 保井太郎

本会の書記は次のとおりであります。

議会事務局長 辻下一博

議会事務局主幹
兼議会係長 竹下雅樹

議事日程

日程1	委員長報告	三常任委員長報告
日程2	意見書案第4号	道路特定財源諸税の暫定税率の延長及び高速道路料金の引下げ
に関する意見書(案)

(午前11時10分 開議)

辻下正純議長 皆さん、おはようございます。

ただいまから平成19年第4回岬町議会定例会3日目を開会します。

ただいまの時刻、午前11時10分です。

本日の出席議員は14名です。

定足数に達しておりますので、本定例会は成立しました。

本定例会には、町長以下の関係職員の出席を求めています。

これより本日の会議を開きます。

辻下正純議長 日程1、「三常任委員長報告」を議題といたします。

過日、12月5日の本会議において、総務文教、厚生、事業の各委員会に付託しました議案について、各委員会で慎重に内容の審査をしていただいた、その結果を三常任委員長から報告を求めます。

初めに、事業委員長の報告を求めます。事業委員長、田代 堯君。

田代事業委員会委員長 改めて、おはようございます。

ただいま議長の許可を得ましたので、事業委員会委員長報告をいたします。

去る12月5日の本会議において、本委員会に付託されました6件の議案については、12月7日に委員会を開催し、慎重に内容の審査を行いましたので、その経過並びに結果について、会議規則第41条第1項の規定により報告いたします。

なお、質疑・応答等の詳細な内容については、配付しております委員会記録のとおりでありますので、よろしくお願いいたします。

まず、議案第99号、平成19年度岬町一般会計補正予算(第3次)の件うち、本委員会に付託された案件については、委員会記録のとおり、質疑・応答があり、満場一致で可決されました。

次に、議案第101号、平成19年度岬町下水道事業特別会計補正予算(第2次)の件については、委員会記録のとおり、質疑・応答があり、満場一致で可決されました。

次に、議案第102号、平成19年度岬町漁業集落排水事業特別会計補正予算(第1次)の件については、質疑・討論なく、満場一致で可決されました。

次に、議案第108号、平成19年度岬町水道事業会計補正予算(第1次)の件については、委員会記録のとおり、質疑・応答があり、満場一致で可決されました。

次に、議案第109号、損害賠償の額の決定及び和解の件については、委員会記録のとおり、質疑・応答があり、満場一致で可決されました。

次に、議案第122号、岬町水道給水条例の一部を改正する件については、委員会記録のとおり、質疑・応答があり、満場一致で可決されました。

以上が、審査経過並びに結果であり、当委員会に付託された6議案は可決すべきものと決定いたしました。

以上で、私の委員長報告を終わります。各委員の皆さん方には、慎重審議、ありがとうございました。

辻下正純議長 事業委員長の報告が終わりました。

事業委員長の報告に対し、質疑を行います。質疑ございませんか。

(「なし」の声あり)

辻下正純議長 質疑なしと認めます。

次に、厚生委員長の報告を求めます。厚生委員長、川端啓子君。

川端厚生委員会委員長 議長の許可を得ましたので、厚生委員会委員長報告をいたします。

12月5日の本会議において、本委員会に付託されました3件の議案については、12月11日に委員会を開催し、慎重に内容の審査を行いましたので、その経過並びに結果について、会議規則第41条第1項の規定により報告いたします。

なお、質疑・応答等の詳細な内容については、配付しております委員会記録のとおりでありますので、よろしくお願いたします。

まず、議案第99号、平成19年度岬町一般会計補正予算(第3次)の件うち、本委員会に付託された案件については、委員会記録のとおり、質疑・応答・賛成討論があり、満場一致で可決されました。

次に、議案第100号、平成19年度岬町国民健康保険特別会計補正予算(第2次)の件については、委員会記録のとおり、質疑・応答があり、満場一致で可決されました。

次に、議案第121号、岬町老人医療費の助成に関する条例等の一部を改正する件については、委員会記録のとおり、質疑・応答があり、満場一致で可決されました。

以上が、審査経過並びに結果であり、当委員会に付託された3議案は可決すべきものと決定しております。

以上で、私の委員長報告を終わります。

辻下正純議長 厚生委員長の報告が終わりました。

それでは、厚生委員長の報告に対し、質疑を行います。質疑ございませんか。

(「なし」の声あり)

辻下正純議長 質疑なしと認めます。

次に、総務文教委員長の報告を求めます。総務文教委員長、奥野 学君。

奥野総務文教委員会委員長 議長の許可を得ましたので、総務文教委員会委員長報告をします。

12月5日の本会議において、本委員会に付託されました16件の議案については、12月12日に委員会を開催し、慎重に内容の審査を行いましたので、その経過並びに結果について、会議規則第41条第1項の規定により報告します。

なお、質疑・応答等の詳細な内容については、配付しております委員会記録のとおりでありますので、よろしくをお願いします。

まず、議案第99号、平成19年度岬町一般会計補正予算(第3次)の件のうち、本委員会に付託された案件については、委員会記録のとおり、質疑・応答があり、満場一致で可決されました。

次に、議案第103号、平成19年度岬町淡輪財産区特別会計補正予算(第1次)の件から議案第106号、平成19年度岬町谷川財産区特別会計補正予算(第1次)の件までの4件については一括議題とし、質疑・討論なく、4件とも満場一致で可決されました。

次に、議案第107号、平成19年度岬町住宅用地造成事業特別会計補正予算(第1次)の件については、質疑・討論なく、満場一致で可決されました。

次に、議案第111号、岬町住民活動センター条例を制定する件については、委員会記録のとおり、質疑・応答・反対討論があり、挙手多数で可決されました。

次に、議案第112号、岬町立アップル館条例を制定する件については、委員会記録のとおり、質疑・応答・反対討論があり、挙手多数で可決されました。

次に、議案第113号、岬町立学校施設使用条例を制定する件については、委員会記録のとおり、質疑・応答・反対討論があり、挙手多数で可決されました。

次に、議案第114号、岬町立テニスコート条例を制定する件については、委員会記録のとおり、反対討論があり、挙手多数で可決されました。

次に、議案第115号、岬町文化センター条例の全部を改正する件については、委員会記録のとおり、反対討論があり、挙手多数で可決されました。

次に、議案第116号、岬町青少年センター条例の全部を改正する件については、委員会記録のとおり、反対討論があり、挙手多数で可決されました。

次に、議案第117号、岬町運動広場の設置及び管理条例の全部を改正する件については、委員会記録のとおり、質疑・応答・反対討論があり、挙手多数で可決されました。

次に、議案第118号、岬町立町民体育館条例の全部を改正する件については、委員会記録のとおり、質疑・応答・反対討論があり、挙手多数で可決されました。

次に、議案第119号、一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する件については、質疑・討論なく、満場一致で可決されました。

次に、議案第120号、職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する件については、質疑・討論なく、満場一致で可決されました。

以上が、審査経過並びに結果であり、当委員会に付託された16議案ともに可決すべきものと決定しております。

以上で、報告を終わります。

辻下正純議長 総務文教委員長の報告が終わりました。

総務文教委員長の報告に対し、質疑を行います。質疑ございませんか。

(「なし」の声あり)

辻下正純議長 質疑なしと認めます

以上で、三常任委員長の報告が終わりました。

ただいまから、議案第99号「平成19年度岬町一般会計補正予算(第3次)の件」について、討論を行います。

これより討論に入ります。討論ございませんか。

中原 晶君、反対討論ですか、賛成ですか。

中原 晶議員 賛成です。

辻下正純議長 反対討論ございませんか。

(「なし」の声あり)

辻下正純議長 中原 晶議員。

中原 晶議員 私が所属しております総務文教委員会と厚生委員会の方で、意見や要望については述べさせていただいたところでありますけれども、この場で改めて、重ねて申し上げたいことがございまして、討論に参加したいと思っております。本補正に含まれる予算については、大半のものについては決して反対するものではありませんけれども、2点にわたって要望をしておきたいと思っております。

1点目は、多奈川小学校と深日小学校の学童保育の統合にかかわる問題であります。補正予算

の中では、この2つの学童保育を統合するという事に当たって、児童を移送するための車両の確保の予算化が含まれておりました。この件については、利用者への公的なサービスの後退ということは明らかであります。学童の保護者に対して事前に周知し、承諾を得ているなど、丁寧な対応も見受けられ、今後、実態として困ることのないように、より一層丁寧な運営を図っていただきたいということが1点であります。

もう1点については、借換債の問題であります。公債費の負担を減らすと、この自体については大いに賛成であります。安い金利に借りかえるために、今進めている集中改革プランを確実に実行させるという条件つきであるという点について、大きな危惧を感じております。この集中改革プランについては、住民負担増ですとか、公的サービスの後退が多く含まれておまして、今回の借りかえについては、あめとむちというような格好で、地方自治体の自主性を縛るという国のやり方自体に反対であります。

今後、岬町におきましても、住民負担増や公的サービスの後退につながらないように運用することを要望しまして、賛成といたします。

以上です。

辻下正純議長 他に討論ございませんか。

(「なし」の声あり)

辻下正純議長 これで討論を終わります。

これより、議案第99号「平成19年度岬町一般会計補正予算(第3次)の件」について、起立により採決します。

本件についての三常任委員長の報告は、原案のとおり可決すべきものと決定しております。

三常任委員長の報告のとおり、可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

(起立全員)

辻下正純議長 満場一致です。よって、議案第99号は、原案のとおり可決されました。

議案第100号「平成19年度岬町国民健康保険特別会計補正予算(第2次)の件」について、討論を行います。

これより討論に入ります。討論ございませんか。

(「なし」の声あり)

辻下正純議長 討論なしと認めます。

これより、議案第100号「平成19年度岬町国民健康保険特別会計補正予算(第2次)の件」について、起立により採決します。

本件についての厚生委員長の報告は、原案のとおり可決すべきものと決定しております。
厚生委員長の報告のとおり、可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

(起立全員)

辻下正純議長 満場一致です。よって、議案第100号は、原案のとおり可決されました。

議案第101号「平成19年度岬町下水道事業特別会計補正予算(第2次)の件」について、
討論を行います。

これより討論に入ります。討論ございませんか。

(「なし」の声あり)

辻下正純議長 討論なしと認めます。

これより、議案第101号「平成19年度岬町下水道事業特別会計補正予算(第2次)の件」
について、起立により採決します。

本件についての事業委員長の報告は、原案のとおり可決すべきものと決定しております。
事業委員長の報告のとおり、可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

(起立全員)

辻下正純議長 満場一致です。よって、議案第101号は、原案のとおり可決されました。

議案第102号「平成19年度岬町漁業集落排水事業特別会計補正予算(第1次)の件」につ
いて、討論を行います。

これより討論に入ります。討論ございませんか。

(「なし」の声あり)

辻下正純議長 討論なしと認めます。

これより、議案第102号「平成19年度岬町漁業集落排水事業特別会計補正予算(第1次)
の件」について、起立により採決します。

本件についての事業委員長の報告は、原案のとおり可決すべきものと決定しております。
事業委員長の報告のとおり、可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

(起立全員)

辻下正純議長 満場一致です。よって、議案第102号は、原案のとおり可決されました。

議案第103号「平成19年度岬町淡輪財産区特別会計補正予算(第1次)の件」について、
討論を行います。

これより討論に入ります。討論ございませんか。

(「なし」の声あり)

辻下正純議長 討論なしと認めます。

これより、議案第103号「平成19年度岬町淡輪財産区特別会計補正予算（第1次）の件」について、起立により採決します。

本件についての総務文教委員長の報告は、原案のとおり可決すべきものと決定しております。
総務文教委員長の報告のとおり、可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

（起立全員）

辻下正純議長 満場一致です。よって、議案第103号は、原案のとおり可決されました。

議案第104号「平成19年度岬町深日財産区特別会計補正予算（第2次）の件」について、討論を行います。

これより討論に入ります。討論ございませんか。

（「なし」の声あり）

辻下正純議長 討論なしと認めます。

これより、議案第104号「平成19年度岬町深日財産区特別会計補正予算（第2次）の件」について、起立により採決します。

本件についての総務文教委員長の報告は、原案のとおり可決すべきものと決定しております。
総務文教委員長の報告のとおり、可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

（起立全員）

辻下正純議長 満場一致です。よって、議案第104号は、原案のとおり可決されました。

議案第105号「平成19年度岬町多奈川財産区特別会計補正予算（第2次）の件」について、討論を行います。

これより討論に入ります。討論ございませんか。

（「なし」の声あり）

辻下正純議長 討論なしと認めます。

これより、議案第105号「平成19年度岬町多奈川財産区特別会計補正予算（第2次）の件」について、起立により採決します。

本件についての総務文教委員長の報告は、原案のとおり可決すべきものと決定しております。
総務文教委員長の報告のとおり、可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

（起立全員）

辻下正純議長 満場一致です。よって、議案第105号は、原案のとおり可決されました。

議案第106号「平成19年度岬町谷川財産区特別会計補正予算（第1次）の件」について、

討論を行います。

これより討論に入ります。討論ございませんか。

(「なし」の声あり)

辻下正純議長 討論なしと認めます。

これより、議案第106号「平成19年度岬町谷川財産区特別会計補正予算(第1次)の件」について、起立により採決します。

本件についての総務文教委員長の報告は、原案のとおり可決すべきものと決定しております。

総務文教委員長の報告のとおり、可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

(起立全員)

辻下正純議長 満場一致です。よって、議案第106号は、原案のとおり可決されました。

議案第107号「平成19年度岬町住宅用地造成事業特別会計補正予算(第1次)の件」について、討論を行います。

これより討論に入ります。討論ございませんか。

(「なし」の声あり)

辻下正純議長 討論なしと認めます。

これより、議案第107号「平成19年度岬町住宅用地造成事業特別会計補正予算(第1次)の件」について、起立により採決します。

本件についての総務文教委員長の報告は、原案のとおり可決すべきものと決定しております。

総務文教委員長の報告のとおり、可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

(起立全員)

辻下正純議長 満場一致です。よって、議案第107号は、原案のとおり可決されました。

議案第108号「平成19年度岬町水道事業会計補正予算(第1次)の件」について、討論を行います。

これより討論に入ります。討論ございませんか。

(「なし」の声あり)

辻下正純議長 討論なしと認めます。

これより、議案第108号「平成19年度岬町水道事業会計補正予算(第1次)の件」について、起立により採決します。

本件についての事業委員長の報告は、原案のとおり可決すべきものと決定しております。

事業委員長の報告のとおり、可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

(起立全員)

辻下正純議長 満場一致です。よって、議案第108号は、原案のとおり可決されました。

議案第109号「損害賠償の額の決定及び和解の件」について、討論を行います。

これより討論に入ります。討論ございませんか。

反対討論ございませんか。

(「なし」の声あり)

辻下正純議長 賛成討論、中原 晶議員。

中原 晶議員 本件につきましては、事業委員会に付託されておりまして、私は所属をしておりませんので傍聴もさせていただき、その場でこの事故についての詳細な説明もお聞かせいただいたところでもあります。この事故については、給水管とガス管が近接していることで、ガス管を破損してしまったということでありまして、今後のことで危惧されることが1点ありますので、その点について、この場で改めて申し上げておきたいと思います。

1カ所、このようなことが起これば、ほかの箇所で起こる可能性がないとは言えないということで、今後、住民生活への被害、ガス漏れ等の被害が起こらないようにという点が1つ危惧されるところであります。今後も同じような事故等を繰り返されないように、必要な調査や措置を改めて要望しておきたいと思います。

以上です。

辻下正純議長 他に討論ございませんか。

(「なし」の声あり)

辻下正純議長 これで討論を終わります。

これより、議案第109号「損害賠償の額の決定及び和解の件」について、起立により採決します。

本件についての事業委員長の報告は、原案のとおり可決すべきものと決定しております。

事業委員長の報告のとおり、可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

(起立全員)

辻下正純議長 満場一致です。よって、議案第109号は、原案のとおり可決されました。

議案第111号「岬町住民活動センター条例を制定する件」について、討論を行います。

これより討論に入ります。討論ございませんか。

賛成ですか、反対ですか。

中原 晶議員 反対です。

辻下正純議長 反対討論、中原 晶議員、どうぞ。

中原 晶議員 本件につきましては、総務文教委員会の場合でも意見も申し上げさせていただきましたけれども、本会議の場で改めて申し上げておきたいと思います。

この件につきましては、行政サービスの対価として使用料を徴収するということでありますけれども、地方自治体としては、行政サービスを行い、住民生活を向上させるということが地方自治法も定められた責務でありまして、受益や負担の公平性という考え方を持ち込むこと自体が誤りであるという考えであります。また、利用者の負担の拡大にもつながることから、反対いたします。

以上です。

辻下正純議長 他に討論ございませんか。

(「なし」の声あり)

辻下正純議長 これで討論を終わります。

これより、議案第111号「岬町住民活動センター条例を制定する件」について、起立により採決します。

本件についての総務文教委員長の報告は、原案のとおり可決すべきものと決定しております。

総務文教委員長の報告のとおり、可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

(起立多数)

辻下正純議長 起立多数であります。よって、議案第111号は、原案のとおり可決されました。

議案第112号「岬町立アップル館条例を制定する件」について、討論を行います。

これより討論に入ります。討論ございませんか。

反対討論ございませんか。田代議員。

田代 堯議員 この条例については、本会議の2日目の質疑の中でも、私なりの考え方を理事者の方に促したんですが、的確な、明確な回答が得られなかったということから、あえて反対をさせていただきたいと、このように思っております。

現在の深日会館は、当時、行政の一環として、深日第一保育所、さらには第二保育所との統合に伴って、当時の行政と父母の会との間で、長い年月の中で、いろいろと協議がなされてきた経過、そういった中で、最終的には、児童福祉施設として児童館の建設、つまりそれにちなって、アップル館という名称がついたわけなんです。現在の建物は、1階が図書室で、2階が遊戯室ということになっておることは、もうご承知だと思うんですが。今回、この2階を会議室として使用したいということで行政の方は提案されているわけですけども、私を知る限り、見る限り、

2階の会議室というのは、全く会議をするような形状にはなっておらない。図書があって、そして狭いとこでの遊戯室という形になっておるんで、物理的にも会議室として使用するのは無理があるんじゃないか、このように思っております。

また、過日の総務文教委員会での行政側の説明では、団体が会議をする場合に使用料をいただくんだと、こういうことを言っておられますけども、委員の中から、目の前に立派な会館があるやないかと、深日会館があるやないかと。そこを使ったらいいんじゃないか。団体の方が、子供のための児童館を会議室として使うのはどうかなという意見もあったというふうに、私もそういうふうに聞いておるわけですけども。

本来、児童福祉法では、児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、また情操を豊かにすることを目的とすると。これは教育部長かな、よく過日の説明されておったんですが、ですから、そういうことから建設に至った経緯というものを考え、当時の覚書等々を吟味しますと、今回の目的というのは大きく逸脱しているんじゃないか、私はそのように思います。

子供たちが、今まで自由に利用できたということも、よくなったということも報告がなされておりますけども、そういったところに使用料を課して運営をしていくということが、やはり子供たちの利用制限をするというような形になりはせんかという心配がございます。

それから、次に、この条例の目的であります指定管理者制度の導入に伴いと、このようになっておりますが、過日の本会議でも説明は聞いておりますけども、現在、臨時職員、さらには文庫の会、そういった方々のボランティアのお力をかりて、既に十分運営というんですか、管理運営が十分なされておる。そして、過日の委員会等でも説明がありましたけども、指定管理者を導入したとしても、維持経費の面において、そう差異がない。例えば1万円か2万円程度の経費の差異はあるけども、さほど指定管理者に持っていく必要があるのかなと。私はないんじゃないかな、そのように考えるわけでありませう。

今回のそういった意味では、指定管理者の導入というのは、必要性は、私はないと、このように思います。時としては、条例ですから、時代の流れによって条例化をせないかん、こういうこともあり得る、そういうことは私も十分承知しておりますけども、やはりこういった過去の歴史、過去のそういった約束事、これはやはりきちっと守っていく。そして、それを理解していただくということが必要であると、そういう観点から、今回の条例の設置については、そういった、特に深日の父母の会、または深日の住民、また、そういった子供さんをお持ちの多くの方々の理解が得られにくいと、そういう観点から、私は本条例の必要性はないということで、反対をいたします。

以上です。

辻下正純議長 次に、賛成の方の発言を許します。

(「なし」の声あり)

辻下正純議長 次に、反対の方の発言を許します。出口 實君。

出口 實議員 私も、実は、田代議員と同意見でございまして、今現在、福祉の問題も問われておりますけども、特に岬町は児童が少ないという中で、そしてまた、先ほども、特に子供の被害がいろいろ出ております。そういう中で、子供がゆったりと遊べる場所、また学べる場所が有料になるということ自体がおかしいと思いますし、会議室ということでも、田代議員がおっしゃたとおり、その目の前に深日会館がありまして、十分に深日会館の方で有効利用ができるという形を考えております。

それと、またもう1件は、深日会館以外でもたくさんの会館がございます。そういう中で、わざわざ有料にして会議室を設けるということ自体は、私も反対です。

以上でございます。

辻下正純議長 ほかにございませんか。

反対ですか、中原議員。

中原 晶議員 この件につきましては、委員会の中でも詳細にわたっているいろいろなお考えをお聞きしたところでありますが、この場で改めて私の考えを整理してお伝えいたしたいと思います。

まず、指定管理者制度の導入という問題については、かねてからほかの件についても、公的サービスですとか、公的な責任の縮小という問題で反対をしまいいりました。さらに、総務文教委員会の審議の中で、現在、一定の運営を担ってくださっている絵本のボランティアの方々の運営について、非常に高く評価をしているという答弁がありました。そういう答弁があったにもかかわらず、さらに指定管理者制度を導入するという必要性を委員会の審議の中では感じられなかったということがもう1点でありまして、行く行く起こっていくことの心配な内容といたしましては、結果的に、指定管理者に低コストで運営を押しつけることになっていくのではないかという危惧を持っております。

指定管理者に移行された場合、運営について、コスト面で十分でないということがあった場合に、実際としては開館時間を短くするですとか、光熱水費を極度に節約しなければならない。また、図書購入費を減らすなど、行く行くは住民サービスの低下につながっていくということが危惧されますので、そういった立場で反対といたします。

以上です。

辻下正純議長 他に討論ございませんか。

(「なし」の声あり)

辻下正純議長 これで討論を終わります。

これより、議案第112号「岬町立アップル館条例を制定する件」について、起立により採決します。

本件についての総務文教委員長の報告は、原案のとおり可決すべきものと決定しております。

総務文教委員長の報告のとおり、可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

(起立多数)

辻下正純議長 起立多数であります。よって、議案第112号は、原案のとおり可決されました。

議案第113号「岬町立学校施設使用条例を制定する件」について、討論を行います。

これより討論に入ります。討論ございませんか。

賛成ですか、反対ですか。

田代 堯議員 反対討論。

辻下正純議長 田代議員。

田代 堯議員 この条例も、先ほどと同じで反対をしたいと思います。

提案理由では受益者負担の適正化を図ると、このようになっておりますが、現在、使用料として講堂並びに教室等は、昼間と夜間に区分されております。今回の条例案では、2時間を1単位となっておりますが、また、新たに運動場の使用料を徴収するということになっている。現在の管理状況は、特に多奈川の場合しか私も余り存じないんですが、管理状況は無料というんか、免除されておった。特に運動場は使用規定がなかったので、だれもが自由に利用ができた。そのために、夏の暑い、草の生えている時期には、その管理はどのようにしてたかという、今までは学校の先生が草刈りをしておった。しかし、その後、余りにも利用する人たちが見かねて、やはり自分たちで草刈りをしていこうと。やはり電動の草刈り機を持って、皆で草を刈っているのは、これは学校の関係の方よく存じていただくと思うんですが、そういった、自分たちで草を刈り、運動場を整備し、トイレ等もちゃんと掃除をして、管理をして、利用しておられる。そうすると、当然、その時点で、利用者が受益を受ける分については、十分負担をしているんじゃないかな、私はそのように現在も思っております。

お金を取る。いわば料金を課すということになれば、一体、使用料を徴収することになれば、どのような管理体制でいくのか。例えば2時間を1単位とするなら、時間の超過があった場合については、だれが監視をし、徴収をするのか。町が使用料を課すということになれば、当然、町が

管理すべきものであって、その辺の運営管理費が、じゃあいかほどになるのか、そういった細かい積算等も説明はなさっておらない。

ですから、その次に、最後の末尾に、その他の委員会が特に必要を認める学校施設と、このように明記されてありますが、このような許可権者の裁量において、使用料をそのとき、そのとき決めるといような規定、あいまいな規定というのは、現にこれは憤むべきであって、そういうことが明記されていることは、私は理解できないところであります。

有料となれば、今まであそこの運動場も散歩したり、朝のジョギングしたり、そういった方を各小学校で随時見るわけなんですけども、そういった方々の生涯学習、若い子供さん、または中高年さんの体力づくりによっても、そういった青少年の健全育成、またスポーツを通じてのコミュニケーションづくり、そういったものか妨げにならないか、そういったことを私は危惧するところであります。

特に高齢者が体力づくりをすることによって、ひいては健康保険というんですか、そういう保険料の、やっぱり医者にかからないために、そういった減少にもつながるんじゃないかな、このような観点から、私は自由に使える運動場というのは、従来どおり、やはり免除して利用していただく。そして、その運動場の整備、そういったことは行政が金をかけないで、そういった方にボランティア的に、当然義務的にやっていただくことが好ましいと、こういうことから、あえて反対をするものであります。

以上です。

辻下正純議長 次に、賛成の方の発言を許します。

(「なし」の声あり)

辻下正純議長 なければ、反対の方の発言を許します。中原議員。

中原 晶議員 この件につきましても、総務文教委員会の中で、考え方については申し上げたところではありますが、本会議の場で改めて反対討論をいたしたいと思えます。

前の議案第111号のところでも申し上げたところではありますが、この件につきましても、使用料の受益者負担の適正化というかけ声で、住民負担の拡大と公的サービスの後退をもたらすという大きな考え方そのものについて、承服しかねる立場であります。

特に本件につきましては、学校教育施設での使用料徴収ということで、近隣でも実際の徴収というところについては、極めて例が少ないということでもありまして、反対といたします。

なお、この後、議案第114号から第118号について、使用料の負担を伴う条例改正と呼ばれるものが上げられておりますが、いままで申し上げた立場で、すべて反対であります。

以上です。

辻下正純議長 他に討論ございませんか。

(「なし」の声あり)

辻下正純議長 これで討論を終わります。

これより、議案第113号「岬町立学校施設使用条例を制定する件」について、起立により採決します。

本件についての総務文教委員長の報告は、原案のとおり可決すべきものと決定しております。

総務文教委員長の報告のとおり、可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

(起立多数)

辻下正純議長 起立多数です。よって、議案第113号は、原案のとおり可決されました。

お諮りします。

暫時休憩したいと思います。ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

辻下正純議長 異議なしと認めます。暫時休憩することに決定しました。

再開は1時から、よろしく願いいたします。

(午後0時00分 休憩)

(午後1時00分 再開)

辻下正純議長 休憩前に引き続き会議を再開します。

議案第114号「岬町立テニスコート条例を制定する件」について、討論を行います。

これより討論に入ります。討論ございませんか。

(「なし」の声あり)

辻下正純議長 討論なしと認めます。

これより、議案第114号「岬町立テニスコート条例を制定する件」について、起立により採決します。

本件についての総務文教委員長の報告は、原案のとおり可決すべきものと決定しております。

総務文教委員長の報告のとおり、可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

(起立多数)

辻下正純議長 起立多数です。よって、議案第114号は、原案のとおり可決されました。

議案第115号「岬町文化センター条例の全部を改正する件」について、討論を行います。

これより討論に入ります。討論ございませんか。

(「なし」の声あり)

辻下正純議長 討論なしと認めます。

これより、議案第115号「岬町文化センター条例の全部を改正する件」について、起立により採決します。

本件についての総務文教委員長の報告は、原案のとおり可決すべきものと決定しております。

総務文教委員長の報告のとおり、可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

(起立多数)

辻下正純議長 起立多数です。よって、議案第115号は、原案のとおり可決されました。

議案第116号「岬町青少年センター条例の全部を改正する件」について、討論を行います。

これより討論に入ります。討論ございませんか。

(「なし」の声あり)

辻下正純議長 討論なしと認めます。

これより、議案第116号「岬町青少年センター条例の全部を改正する件」について、起立により採決します。

本件についての総務文教委員長の報告は、原案のとおり可決すべきものと決定しております。

総務文教委員長の報告のとおり、可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

(起立多数)

辻下正純議長 起立多数です。よって、議案第116号は、原案のとおり可決されました。

議案第117号「岬町運動広場の設置及び管理条例の全部を改正する件」について、討論を行います。

これより討論に入ります。討論ございませんか。

賛成ですか、反対です。

田代 堯議員 反対討論。

辻下正純議長 田代議員。

田代 堯議員 岬町運動広場設置条例の件でありますけども、この条例の目的は、町民スポーツ振興と健康及び体力の向上を促進するためと、このようになっております。現在、運動場は高齢者の方々が日常的に利用されており、維持管理については、先ほどの学校でも述べましたように、利用者の方が、ある種の義務感として、年間を通じて、広場の整備並びにそういった除草等を行っているように聞いております。そういうことで、日常管理は利用者が行政にかわってやっ

ただいておるといことから、十分受益者としての負担は、そこで行っているんじゃないかなというふうに思います。

この運動場の設置の目的なんですけども、先ほど、目的については申し上げましたけども、その経緯というのは、例えば淡輪の青少年広場、さらには緑ヶ丘の青少年広場については、当時、同和行政の一環として、人権啓発活動を含めた中で、スポーツまたはレクリエーション等を通じて、多くの方々と交流を図っていくためには、どうしてもそういった広場が必要だということで、当時設置された経緯があります。

私も、その中に入っておりますけども、その中で、現在、どのように利用されているかといいますと、淡輪の青少年広場についても、地元の議員さんも多いですけども、日常、朝・昼・夕方問わず、グラウンドボール、またはゲートボールのステッキを持って、1人、2人、3人で練習をなさっている姿を私はよく見かけるわけなんですけども、そうやって、日常的に有効に使えている町民のための広場というふうに、私は今まで理解をしておりました。そこに料金を課していくということについては、非常に私は抵抗があるんじゃないかな。金が要るんやったら、そこやめとこかというような形で、結果的には、目的であります人権啓発の活動の中の一環の人間の交流、人と人との交流、そういうものが減少していくんじゃないかな。かえって、人権啓発活動を阻害するようなことになるんじゃないかなと、私は心配をいたしております。

また、灰賊池の運動場についても、過去にこの建設をめぐる、岬町体育協会、スポーツ少年団、さらには地域の水利組合とか、漁業組合、そういった方々が、中継ポンプ場、あそこへつくることについて、いささかの問題があって、かなりの議論をされた経過で、最終的には町民グラウンドとして位置づけて、そして、社会教育施設であるということから、今後、管理運営については、そういった体協なりスポーツ少年団が管理をしていくという約束のもとで建設がされた。その後については、どうも大人が野球をやったりするには、グラウンドが狭いということから、現在は、子供のサッカー、さらには女子の方のソフトボール、そういった意味で、社会教育施設、そういった施設として、十分、今、利用されておる中で、そういった経過、建設された経過、そして目的、そういったものを考えると、もっと問題については慎重に、やはり条例の整備をする必要があるんじゃないかな。

結果的には、運動場公園と言いながらも、やはり住民の憩いの場でもあるし、そういったことを、料金をかけることによって、先ほども申しましたとおり、利用価値が減ることは、私はいかなもんかなというふうに思います。ですから、やはり当時の目的、そういったことをきっちりと把握した上で、この条例を提案してほしかったなというふうに思います。

そういった中で、次回出されるとしても、今回、私は目的に沿った条例内容になってないということから、あえて反対をさせていただきます。

以上です。

辻下正純議長 次に、原案に賛成の方の発言を許します。ございませんか。

(「なし」の声あり)

辻下正純議長 これで討論を終わります。

これより、議案第117号「岬町運動広場の設置及び管理条例の全部を改正する件」について、起立により採決します。

本件についての総務文教委員長の報告は、原案のとおり可決すべきものと決定しております。

総務文教委員長の報告のとおり、可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

(起立多数)

辻下正純議長 起立多数です。よって、議案第117号は、原案のとおり可決されました。

議案第118号「岬町立町民体育館条例の全部を改正する件」について、討論を行います。

これより討論に入ります。討論ございませんか。

田代 堯君。

田代 堯議員 現在の体育館については、町の主催するイベント、またさらには体育協会、社会生涯学習の中でいろいろと利用頻度はかなり高いものがあると、私はそのように認識をいたしております。さらには、住民体力の向上にも大きくつながっているんじゃないかなというふうに思っております。さきに、私、いろいろ述べさせてもらったんですが、使用している方々は、特にトイレが汚いということから、トイレの清掃等は、以前は近くに管理者がいて管理をなさっていた。しかし、現在はないということから、利用者が率先して、やはり後の整理整頓、そういったトイレの清掃、それなどは行っているということから、受益者負担ということの提案でありますけども、その時点で、十分受益者がそれを利用される方が受益者としての負担を負っているんじゃないかなと、このように思っております。

そこで、今回、なぜこの提案に反対するかといいますと、過日の本会議のときにも申し上げましたとおり、あそこには、柔道場とボクシングジムがございます。さらには駐車場もあります。そのことについて、まず以前から、これは議員の方からも出ておりますけども、駐車場の料金を徴収すべきやないかという声も、今まで何回となくあったと思いますね。そして、柔道場についても、これは町の持ち物じゃないか。いや、これは私物やないかということで、事あるたびにこの問題が提起され、そのたびに、行政、議会が苦慮した経緯から見て、いまだにそれが整理

がなされておられない。ボクシングジムについては、当時、議会もいろいろと議論をした中で、青少年の健全育成のためにご苦勞なさっていただくなら、あえて町の敷地を提供して、そこに当事者が設置することは認めていこうということで、設置された経過がありますから、その点の土地の使用料を取るのかどうかということについては、今後の課題であったわけなんですけれども。今回の条例については、そういった柔道場、さらにはボクシングジム、駐車場、そういったところの条例化がいっことも整備されてない。じゃあ、体育館の使用料を取る前に、先にこのことをきちっと整備をしない限り、住民同士の感情が表に出てきて、さらに行政がこの問題に苦慮せなならん。議会がそれを了解したとなれば、あそこを無断で駐車場にとめている、それは金要らんのかい、こういった問題も、今出てきております。

こういうことをやはりきちっと整理するべきだと私は思っております。特に柔道場については、底地の部分については町有地であるというふうに聞いておりますが、建物についての所在は明確になってない。そういうことも、この際、きちっと整理をして、そして全体的に目配りをした中で条例を新たにつくり直して、私は提案するべきだと、このように思っております。

そういった意味から、まずすべきことを先にやっていただきたいと、このことを申し上げて、反対といたします。

以上です。

辻下正純議長 次に、原案に賛成の方の発言を許します。ございませんか。

(「なし」の声あり)

辻下正純議長 ないようですので、これで討論を終わります。

これより、議案第118号「岬町立町民体育館条例の全部を改正する件」について、起立により採決します。

本件についての総務文教委員長の報告は、原案のとおり可決すべきものと決定しております。

総務文教委員長の報告のとおり、可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

(起立多数)

辻下正純議長 起立多数です。よって、議案第118号は、原案のとおり可決されました。

議案第119号「一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する件」について、討論を行います。

これより討論に入ります。討論ございませんか。

(「なし」の声あり)

辻下正純議長 討論なしと認めます。

これより、議案第119号「一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する件」について、起立により採決します。

本件についての総務文教委員長の報告は、原案のとおり可決すべきものと決定しております。総務文教委員長の報告のとおり、可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

(起立全員)

辻下正純議長 満場一致です。よって、議案第119号は、原案のとおり可決されました。

議案第120号「職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する件」について、討論を行います。

これより討論に入ります。討論ございませんか。

(「なし」の声あり)

辻下正純議長 討論なしと認めます。

これより、議案第120号「職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する件」について、起立により採決します。

本件についての総務文教委員長の報告は、原案のとおり可決すべきものと決定しております。総務文教委員長の報告のとおり、可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

(起立全員)

辻下正純議長 満場一致です。よって、議案第120号は、原案のとおり可決されました。

議案第121号「岬町老人医療費の助成に関する条例等の一部を改正する件」について、討論を行います。

これより討論に入ります。討論ございませんか。

(「なし」の声あり)

辻下正純議長 討論なしと認めます。

これより、議案第121号「岬町老人医療費の助成に関する条例等一部を改正する件」について、起立により採決します。

本件についての厚生委員長の報告は、原案のとおり可決すべきものと決定しております。厚生委員長の報告のとおり、可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

(起立全員)

辻下正純議長 満場一致です。よって、議案第121号は、原案のとおり可決されました。

議案第122号「岬町水道給水条例の一部を改正する件」について、討論を行います。

これより討論に入ります。討論ございませんか。

賛成ですか、反対ですか。

中原 晶議員 賛成です。

辻下正純議長 反対討論はございませんね。

(「なし」の声あり)

辻下正純議長 賛成討論、中原 晶君。

中原 晶議員 本件につきましては、事業委員会に付託されており、傍聴もさせていただき、少し担当の方からお話をお伺いしましたけれども、懸念される点がありますので、要望をして、賛成いたしたいと思います。

本件に関しましては、水道メーターの検針を1カ月に1回を2ヶ月に変えるということで、そのことにつきましては、漏水の問題などで少し委員会等でも議論があったところであります。

もう1点、集金をやめるという内容がありまして、その点について心配なことがありまして、要望したいと思います。現在、6人の集金人の方をお願いをして、約900件の集金の業務を行っていただいているというふうにお聞きしておりますけれども、この方々に対して、制度の移行についての周知の計画について不十分さを感じておりまして、このこと自体についてはサービスの低下でありますし、収納率の低下につながるかなという心配もあります。十分な説明と理解を心がける必要があるのではないかなというふうに感じておりますので、現在、集金を行っている方々に対して丁寧に説明を行い、合意と協力が図られるように丁寧な運用を心がけていきたいということをご要望申し上げます。

以上です。

辻下正純議長 他に討論ございませんか。

(「なし」の声あり)

辻下正純議長 これで討論を終わります。

これより、議案第122号「岬町水道給水条例の一部を改正する件」について、起立により採決します。

本件についての事業委員長の報告は、原案のとおり可決すべきものと決定しております。

事業委員長の報告のとおり、可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

(起立全員)

辻下正純議長 満場一致です。よって、議案第122号は、原案のとおり可決されました。

以上で、三常任委員会に付託されました案件は、すべて議決されました。

各委員の皆さん、本当にご苦労さんでございました。

辻下正純議長 日程2、意見書案第4号「道路特定財源諸税の暫定税率の延長及び高速道路料金の引下げに関する意見書（案）」を議題とします。

本件について、趣旨説明を求めます。議会議員、竹内邦博君。

竹内邦博議員 ただいま議長の許可を得ましたので、意見書案を提案いたします。

意見書案第4号

道路特定財源諸税の暫定税率の延長及び高速道路料金の引下げに関する意見書（案）

本議案を別紙のとおり、会議規則第14条の規定により提出します。

提出者 岬町議会議員 竹内邦博

賛成者は、岬町議会議員

和田 勝弘	谷本 貢
鍛冶 末雄	出口 實
辻下 文信	小川日出夫
川端 啓子	反保多喜男
田代 堯	奥野 学
岡本 重樹	

以上のとおりです。

趣旨説明は、朗読によりかえさせていただきます。

道路特定財源諸税の暫定税率の延長及び

高速道路料金の引下げに関する意見書（案）

現在、国においては道路特定財源の見直し議論が進められており、高速道路料金の引下げや真に整備すべき道路の姿を示した中期計画の作成など、道路整備にかかる基本的な枠組みが決着する極めて重要な年である。

道路特定財源は、基幹的な道路の整備や歩道のバリアフリー化、道路施設の維持管理や予防保全、さらには、高速道路料金の引下げなど、安全安心で快適な住民生活を実現するために欠かすことの出来ない財源である。

地方においては、これまでも必要な道路整備を図る上で多額の一般財源を充当してきた状況であり、厳しい地方の財政状況を勘案すれば、道路特定財源の確保とその有効活用が是非とも必要である。

また、本町にとって第二阪和国道は町づくりの根幹を成す道路であり、その延伸は、交通渋滞

の緩和のみならず、生活環境の改善、経済活動の活性化を図る観点から、早急な整備が望まれているところであることから、道路特定財源を確実に確保することが重要である。

よって、国会及び政府は、地域の実情も踏まえ、下記の点について強く要望する。

記

1．道路特定財源諸税の暫定税率の延長による道路特定財源の確実な確保

来春に適用期限を迎える道路特定財源諸税の税率が本則に戻れば、大幅な歳入欠損が生じ、地方にとって大打撃となることから、平成20年度以降も道路特定財源諸税の暫定税率を延長し、道路の整備や保全を着実に推進するための財源として確保すること。

2．阪神高速道路への道路特定財源の積極投入

現在、阪神高速道路株により距離料金（案）が示されているところであるが、都市高速道路ネットワークの重要性と関西経済への影響の大きさに鑑み、上限料金の引下げ等の財源として、道路特定財源を積極的に投入すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成19年12月21日

大阪府泉南郡岬町議会

（提出先） 内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、国土交通大臣、衆議院議長、参議院議長
以上でございます。

よろしく審議を賜りまして、可決賜りますよう、よろしくお願いいたします。

辻下正純議長 これをもって趣旨説明を終わります。

これより本件に対する質疑を行います。質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

辻下正純議長 質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。討論ございませんか。

反対討論、中原 晶君。

中原 晶議員 本件につきましては、阪神高速道路への料金値下げという問題については、推進するべきで賛成できると考えておりますし、また、第二阪和国道の早期延伸についても盛り込まれておまして、その点は住民的にも望まれているところであるというふうに考えるところであります。しかしながら、同時に、道路特定財源の確保という問題につきましては、大卒の考え方に賛成しかねると考えておまして、特定財源の一般財源化が望ましいという立場から、反対いたします。

以上です。

辻下正純議長 次に、原案に賛成の方の発言を許します。ございませんか。

(「なし」の声あり)

辻下正純議長 これで討論を終わります。

これより、意見書案第4号「道路特定財源諸税の暫定税率の延長及び高速道路料金の引下げに関する意見書(案)」について、起立により採決します。

本件は、原案のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

(起立多数)

辻下正純議長 起立多数です。よって、意見書案第4号は、原案のとおり可決されました。

辻下正純議長 以上をもって、今期定例会の会議に付された事件はすべて議了しました。

以上で、本日の会議を閉じます。

これをもって、平成19年第4回岬町議会定例会を閉会します。

慎重審議、ありがとうございました。

(午後1時30分 閉会)

以上の記録が本町議会第4回定例会の会議のてんまつに相違ないことを記するため、ここに署名する。

平成19年12月21日

岬町議会

議 長 辻 下 正 純

議 員 谷 本 貢

議 員 反 保 多喜男